



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース R1.9.18 Vol.5

大量得点をもたらした福岡県水泳連盟の組織力！



14日(土)～16日(月)にかけて笠松運動公園屋内プールで行われた水泳[競泳]競技。福岡県チームの活躍は本会期を控えた選手たちへ大きな追い風を与えてくれた。ここ3年間の水泳[競泳]競技の獲得点数を振り返ると、第72回大会のいわて国体では31点、第73回大会の福井国体では62点。そして第74回茨城国体において、**92.5点**。【右表：入賞者一覧】3年前から比較すると約3倍となっており、この数字には目を見張るものがある。特に少年男女の得点率の高さは群を抜いていた。この結果は、福岡県水泳連盟として組織的に強化を続けてきた成果だと考える。更に強化だけでなく、試合会場におけるチームの雰囲気は抜群に良いこともポイントである。福岡の選手が出場する際に毎回、皆で集まって応援する。それも、選手だけではなく、監督やコーチも集まって皆で応援しているのである。見ているこちらまで熱くなる、そんなチームだと肌で感じる事ができた。

本年度、初めて国体選手として選ばれたという高校生に話を聞いた。

「機会をもらえるのであれば、また福岡の代表として国体に出場したい」

もう一度、このチームで戦いたいと思わせる雰囲気は、「競泳FUKUOKA」の更なる発展につながっていくだろう。



競泳福岡県チームの応援風景

会期前終了。思いは本会期へと繋がれる。

9月7日(土)から実施された会期前国体が16日(日)で幕を下ろした。会期前を終えた、現在の福岡県の天皇杯順位は13位(得点229点)。また、皇后杯順位は12位(得点143点)。【右表参照】9月18日(水)には、第74回国民体育大会福岡県選手団結団式が実施され、9月28日(土)から本会期の幕が上がる。勝負はこれから！頑張れ！チーム福岡！

9月14日(土)

種別・種目	氏名	所属	順位
少年女子A200m平泳ぎ	石原 愛依選手	柳川高等学校	優勝
少年男子B100m自由形	小山 陽翔選手	東福岡高等学校	4位
少年女子B100mバタフライ	三村 はるな選手	春日市立春日野中学校	4位
少年女子A200m背泳ぎ	井上 結貴選手	福岡県立宗像高等学校	6位
少年女子B100m自由形	森田 真心選手	福岡市立板付中学校	7位
成年男子200m個人メドレー	宝田 康平選手	東洋大学	7位
成年女子100mバタフライ	植野 爽音選手	日本体育大学	8位
少年男子B4×100mフリーリレー	池上 泰正・竹原 秀一・小山 陽翔・原 空輝選手		4位
少年女子B4×100mフリーリレー	森田 真心・三野 晴菜・神武 ゆら・小山田 季未選手		8位

9月15日(日)

種別・種目	氏名	所属	順位
少年女子A400m個人メドレー	石原 愛依	柳川高等学校	2位
少年男子B50m自由形	小山 陽翔	東福岡高校	2位
成年女子100m平泳ぎ	鈴木 聡美	ミキハウス	3位
成年男子100m背泳ぎ	坂井 聖人	SEIKO	5位
少年男子A100m自由形	中杉 勇斗	常盤高等学校	5位
少年男子A400m個人メドレー	高田 航輔	九州産業大付属九州高等学校	6位
成年女子100m自由形	植野 爽音	日本体育大学	7位
成年女子100m背泳ぎ	柳 あかね	近畿大学	7位
少年男子B100m背泳ぎ	竹原 秀一	宗像市立城山中学校	8位
少年男子B4×100mメドレーリレー	竹原 秀一・坂本 淳之介・佐藤 晴輝・原 空輝選手		6位
少年女子B4×100mメドレーリレー	三村 はるな・熊川 菜穂・小山田 季未・森田 真心選手		8位

9月16日(月)

種別・種目	氏名	所属	順位
少年男子A50m自由形	中杉 勇斗	常盤高等学校	5位
少年男子B400m自由形	永岡 祥	常盤高等学校	7位
少年男子B200m個人メドレー	原 空輝	東福岡高校	8位
少年女子A50m自由形	井上 結貴	福岡県立宗像高等学校	8位
少年女子共通400m自由形	岡 莉子	柳川高等学校	5位
成年男子4×100mメドレーリレー	坂井 聖人・平河 機・藤原 育台・菅田 大雅選手		7位
成年女子4×100mメドレーリレー	柳 あかね・鈴木 聡美・植野 爽音・今井 美祈選手		4位
少年女子A4×100mメドレーリレー	井上 結貴・石原 愛依・川口 里利央・高原 彩花選手		7位

天皇杯順位

1位	東京	643
2位	北海道	498
3位	長野	490.5
4位	埼玉	473
5位	神奈川	466.5
6位	大阪	446
7位	茨城	432
8位	愛知	401
9位	兵庫	377.5
10位	千葉	264.5
11位	新潟	234
12位	山形	230
13位	福岡	229

皇后杯順位

1位	東京	364
2位	長野	286.5
3位	愛知	279.5
4位	埼玉	264.5
5位	兵庫	255.5
6位	茨城	250
7位	大阪	207
8位	神奈川	206.5
9位	京都	153
10位	千葉	148.5
11位	北海道	147
12位	福岡	143

※9月16日終了時点